

社会福祉法人 鶴田町社会福祉協議会



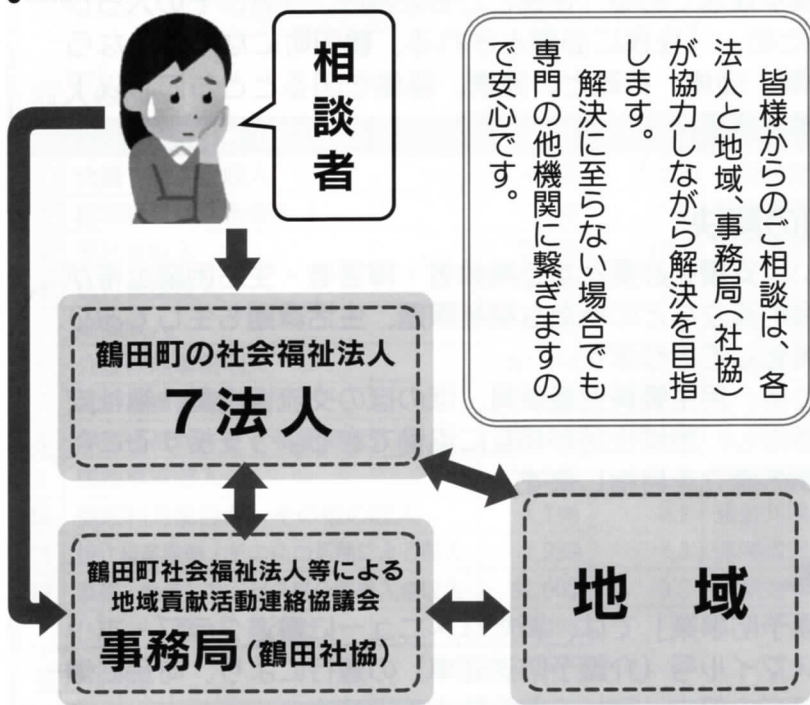
鶴田社協イメージキャラクター たねまきくん

ふれあいひろば

鶴田町社会福祉法人等による地域貢献活動連絡協議会 モデル実証事業
『つなぐ つながる 暮らさるのよりどころ相談所』

令和2年に「青森県型地域共生社会」西北モデル地区として鶴田町が選定され、同年7月に鶴田町社会福祉法人等による地域貢献活動連絡協議会が設立されました。

その後、ワーキンググループでの協議や総会を経て、令和3年3月からモデル事業として、皆様の日常生活での困り事や相談事をお伺いする窓口「つなぐ つながる 暮らさるのよりどころ相談所」を開設いたしました(詳細は、3月毎月配布のチラシ参照)。
窓口の開設場所は鶴田町の下記7法人です。
今まで鶴田町役場や社協に向いて相談されていた方も、今後は皆様の身近にある法人にご相談いただくことが可能になりました。



また、もう一つの相談支援として、皆様のお宅を訪問しながら、困り事・相談事をお伺いする「アウトリーチ型相談支援」も実施します。
「地域」「社会福祉法人」「社協」の三者が一体となり、日々の生活で生じるちよつとした困り事にも誠意を持って解決にあたります。どうぞお気軽にお声がけして下さい。

町民の相談に応じてくださる
相談窓口開設の
7法人

○つるのこ保育園
鶴田町胡桃館連沼22-1
☎22-15325

○つるた乳幼児園
鶴田町鶴田相原688の2
☎22-13765

○つごも園はやせ
鶴田町鶴田早瀬600の4
☎22-15847

○児童養護施設 幸樹園
鶴田町妙堂崎米山187の1
☎22-63341

○多機能型事業所 飛翔食房
鶴田町鶴田押上52
☎23-11030

○特別養護老人ホーム 鶴松園
鶴田町廻堰上野尻146の1
☎22-68888

○介護老人保健施設 湖水荘
鶴田町廻堰東下山91の2
☎22-56994

〒038-3503 青森県北津軽郡鶴田町大字鶴田字沖津193
○編集と発行 鶴田町社会福祉協議会 TEL. 22-3394 FAX. 22-6322
HPアドレス: <http://tsuruta-syakyo.or.jp/>
○印刷 刷 有限会社 アート印刷



この広報は、赤い羽根共同募金の配分金によって発行しています。

令和3年度 事業計画、当初予算

基本理念

「住民と共に歩み、生き、その人らしく暮らせる地域づくり」

重点項目(抜粋)

社会福祉協議会の使命は、地域福祉を推進する中核的な団体として「開かれた社協」となることが求められております。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中でも、新しい生活様式を踏まえた事業運営に努め、当協議会の基本理念である「住民とともに歩み、生き、その人らしく暮らせる地域づくり」の実現のため、「住民に必要とされる、鶴田町になくてはならない社協」となるために各関係機関、団体、行政との連携、協働を図るとともに、以下の重点項目を掲げ、積極的に取り組みます。

1. 地域住民と共に生活課題の解決

人口減少、高齢化率の増加に伴い、支援を必要とする高齢者・障害者・生活困窮世帯が増加し、さらに子どもの貧困や社会的孤立などの新たな福祉課題、生活課題も生じており、福祉に対するニーズは多様化、複雑化しております。

生活課題やニーズの早期把握のため、民生委員児童委員、ほのぼの交流協力員、福祉安心電話協力員等との協力体制を強固にし、地域住民が相互に協働できるよう支援することで、地域での一体的な生活支援体制の確立を目指します。

2. 一般介護予防事業の推進

町受託で実施している「一般介護予防事業」では、新たなメニューに書道クラブ・ボッチャクラブを追加し、引き続き、スマイル号（介護予防送迎車）の運行により、町民に健康と交流の場を提供することで高齢者の孤立、閉じこもり防止を図ります。

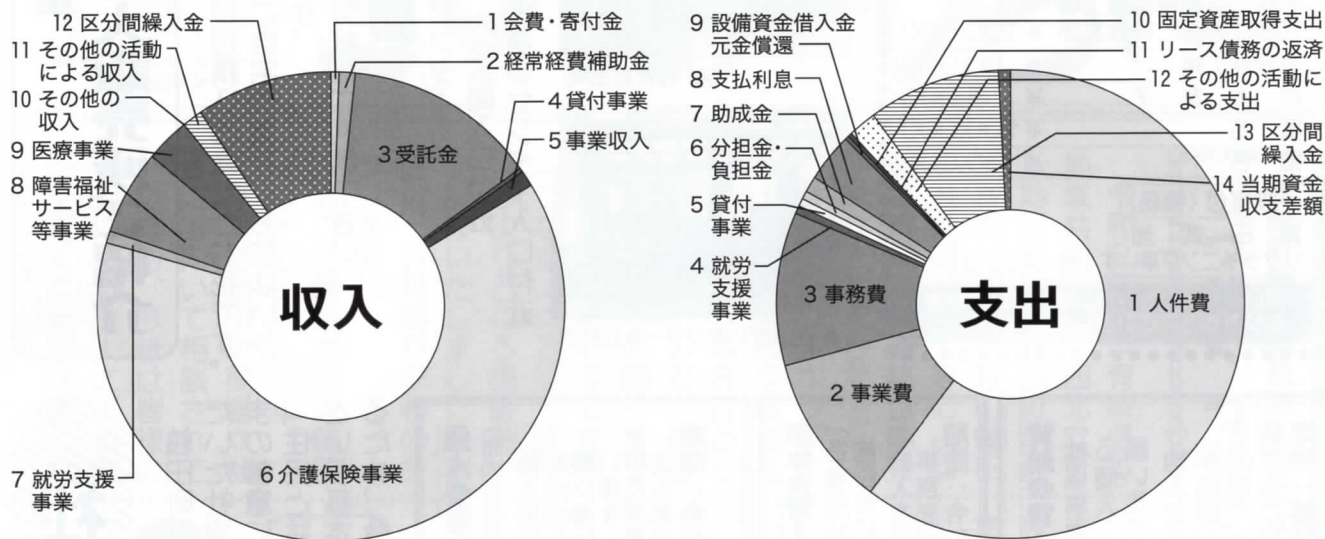
3. 福祉教育の推進

次世代を担う人材育成のため、小・中学校において福祉教育講座を実施することで、親や命を大切に作る心と、地域に存在する様々な福祉問題に関心と理解をもてるよう、保護者等を含めた福祉教育を推進してまいります。

4. 社会福祉法人地域ネットワークの構築

令和2年6月に青森県から委託された、社会福祉法人による「青森県型地域共生社会」西北モデル推進事業は、町内社会福祉法人等のネットワークをより強固にし、各社会福祉法人によるワーキンググループでの検討と情報共有をとおして、社会福祉法人等と地域・社協がつながり、地域の皆さまを支える体制づくりを構築してまいります。

令和3年度 予算総額 556,855千円



収入の部

(単位：千円)

科目 (収入名)	予算額	割合 (%)	主な内容
1 会費・寄付金収入	4,293	0.8	一般会費・団体会費等、寄付金・物品寄付
2 経常経費補助金収入	6,350	1.1	社協運営、福祉のまちづくり補助金、共同募金配分
3 受託金収入	73,316	13.2	ほのほの交流事業、地域包括支援センター、地域活動支援センター、鶴遊館管理、火葬場等
4 貸付事業収入	1,602	0.3	たすけあい資金償還金
5 事業収入	6,489	1.2	配食・昼食サービス、ケア・介護輸送利用料等
6 介護保険事業収入	351,017	63.0	通所介護、訪問介護、居宅介護支援、特別養護老人ホーム、短期入所等
7 就労支援事業収入	3,657	0.7	花のオーナー会費、花卉収入等
8 障害福祉サービス等事業収入	33,659	6.0	就労継続支援B型(鶴花塾)、生活介護、居宅介護等
9 医療事業収入	16,068	2.9	訪問看護
10 受取利息配当金・その他の収入	1,116	0.2	預金利息、退職金積立預け金差益
11 積立資産取崩・その他の活動による収入	7,283	1.3	退職積立資産取崩し
12 事業・拠点・サービス区分間繰入金収入	52,005	9.3	事業運営に係る各区分への繰入金収入
合計	556,855		

支出の部

(単位：千円)

科目 (支出名)	予算額	割合 (%)	主な内容
1 人件費支出	335,982	60.4	役員2名、職員人件費 常勤99名 非常勤12名
2 事業費支出	58,960	10.6	地域福祉事業及び介護保険事業等利用者に直接係る支出
3 事務費支出	59,142	10.6	地域福祉事業及び介護保険事業等事務運用に係る支出
4 就労支援事業支出	3,553	0.6	就労継続支援事業に係る材料、労務費、経費等
5 貸付事業支出	1,800	0.3	たすけあい資金貸付金
6 分担金・負担金支出	925	0.2	県社協・郡社協分担金、福祉安心電話負担金
7 助成金支出	2,120	0.4	ボランティア推進校助成金、幸せの種まき運動、地区サロン助成金等
8 支払利息支出	6,253	1.1	特別養護老人ホーム借入金支払利息
9 設備資金借入金元金償還支出	19,440	3.5	特別養護老人ホーム借入金元金
10 固定資産取得支出	605	0.1	リース車輛買取
11 ファイナンス・リース債務の返済支出	2,383	0.4	車輛、機械浴等リース
12 基金積立・積立資産・その他の活動による支出	10,438	1.9	退職手当積立
13 事業・拠点・サービス区分間繰入金支出	52,005	9.3	事業運営に係る各区分への繰入金支出
14 当期資金収支差額	3,249	0.6	令和4年度へ繰越金
合計	556,855		

鶴花塾 花の無人販売所ご紹介

鶴花塾生が丹精込め育てたお花です。あなたのご自宅や会社にお花はいかがでしょうか。
ぜひ、お気軽にご利用下さい。

◆無人販売所

- ・保健福祉センター「鶴遊館」内玄関入口付近
- ・鶴田町生きがいセンター入口付近



▲ 鶴遊館玄関



▲ 生きがいセンター入口付近

善意の灯

令和3年3月16日～5月19日(敬称略)

一般寄付(金銭)

(有)鶴田自動車整備工場	
代表取締役 神秀次郎	¥100,000
森設備工業	¥50,000
鈴木友子	¥8,000
匿名	¥100,000
匿名	¥50,000

一般寄付(物品)

貴田武光
リクライニング車いす1台、クッション1枚

思いやりのこもったご寄付をいただきありがとうございます。

社協会費納入のご案内

鶴田町社会福祉協議会の事業の多くに住民の皆さまよりいただいた社協会費が使われています。当会の活動は、地域の皆さまの善意によって支えられています。
「住民と共に歩み、生き、その人らしく暮らせる地域づくり」という基本理念のもと、自立し安心して暮らせる毎日を実現するため、今年度もご協力をよろしくお願い申し上げます。

個人会費1世帯 1000円
(町内全世帯にお願いしています)

◆納入方法
町内会を通して『会費納入願書』を持参しお宅に伺います。
※町内会費から納入している地区もあります。
期間：令和3年6月1日～7月31日迄

団体会費1団体 5000円
(各種団体、金融機関、福祉施設等)にお願いしています。
◆納入方法
事務局が伺います
期間：令和3年7月31日迄

賛助会費1口2000円以上
(社協事業にご賛同いただける個人・商店・企業等にお願いしています)
◆納入方法
事務局が伺います
その他、直接来所・又はお電話でもご意向をお伺いします
期間：随時

つばやき

『組写真から見えるもの』

最近、「組写真」というものに興味を持ち始めました。数枚の写真で自分の思いを表現するのは、とても難しいけれども、とても面白いのです。

それは、まるで人間模様のようです。まったく違うタイプの人が一緒にいると、話をしていくうちに、ふと新しい考えが思い浮かぶことがあります。組写真には、そのような予想もつかないことが起こりえるのです。いろいろな種類の写真を並べ、様々な角度から眺めているうちに、より斬新な思いつきが生まれることがあり、とても不思議です。

古い写真を取り出して、最近撮った写真と見比べるだけでもとても面白いと思います。何かわくわくしてきます。

今、ある記念誌の制作をするために、鶴田町の懐かしい街並みや人物の写真を並べ、いろいろ思いをはせています。先人の方々が、いかにふるさとへ情熱を注いでこられたかがひしひしと伝わってきます。

閉じこもりがちで現代社会の中で求められるのは、様々な人間関係の中から生まれる、時代に合った新しい発想なのではないでしょうか。組写真からは、それを学ぶことができます。

皆さんもいろいろな写真を集めて、自分なりの表現をしてみませんか。写真に興味をお持ちの方は、写真展に足を運んでみるのも良いと思います。写真クラブの方々の出会いが、新しい人生へのステップになるかもしれません。人間はいつも今が旬です。
(秋庭 隆貞)

社協の事業は皆さまの愛に支えられています

在宅福祉サービス事業

- ※ほほえみ弁当お届けサービス
- ※一人暮らし昼食会「丹頂の集い」



障害者支援事業

- ※地域活動支援センター「鶴花塾」



地域福祉サービス事業

- ※ほのぼの交流協力員事業

